

2020年7月

シーマン株式会社 様

拝啓 向暑の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、りそなグループ「SDGs 推進私募債」を通じて(公財)日本ユニセフ協会が実施するSDGs(持続可能な開発目標)普及啓発事業に貴重なご寄付をお寄せいただきました。皆様よりあたたかいご賛同を賜りましたことに、心より感謝申し上げます。

ご承知の通り2015年に国連で採択されたSDGsは、国連・国際機関や各国政府だけでなく、企業、NGO、学術団体、市民社会、そして個人へと広がりを見せ、いまでは、世界の未来を語る上での共通語となっています。

子どもの権利を実現し、子どもたち一人ひとりがその可能性を十分に伸ばして成長できることこそが、持続可能な世界の礎となります。そして、持続可能な社会を築く道標ともいえるSDGsは、変化の激しいこれからの世界を生き抜く子どもたちにこそ伝えるべきものであると考えます。

当協会は2018年秋、外務省と協力してSDGs副教材『私たちがつくる持続可能な世界 SDGsをナビにして』を制作いたしました。りそなグループ様より継続してご支援をお寄せいただき、2018年、2019年と2年続けて、全国すべての中学3年生約110万人に本副教材を配布することができました。

今回お寄せいただきましたご寄付も、本副教材の最新版発行と配布(2020年秋)に加え、SDGsを広く知らせる様々な啓発活動に大切に役立てさせていただく予定です。皆様のご支援に重ねて御礼申し上げます。

折しも、新型コロナウイルス感染症が、日本を含め世界中で甚大な影響を与えております。「誰ひとり取り残さない」、「パートナーシップによる課題解決」というSDGsの理念を実現できるか、この危機は、その試金石となっているのではないのでしょうか。私たちも、協力してこの危機を乗り越える姿を子どもたちに示していきたいものと考えております。

今後とも、皆様のお力添えのもと、世界の子どもたち、そして、日本の子どもたちの成長に資する活動を進めてまいります。引き続き、あたたかいご協力を賜りますよう、何卒よろしく申し上げます。

敬具

公益財団法人 日本ユニセフ協会

専務理事

早水 研